

保護者様

横浜市立文庫小学校
校長 鈴木 祐輔

令和5年度「横浜市学力・学習状況調査」結果のお知らせ

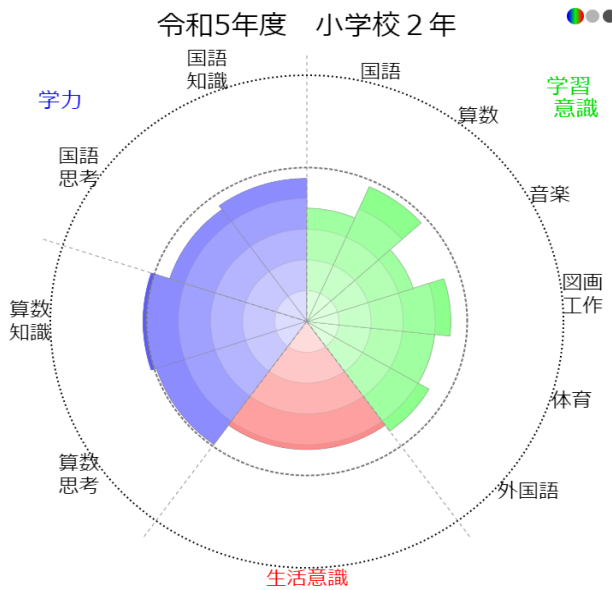
保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度4月に実施されました「横浜市学力・学習状況調査」の結果につきましてご報告いたします。担任が結果を分析し、日々の教育活動に生かしていきます。今後とも、学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《表の見方》

調査内容はすべて前学年のものです。正答率を学年ごとに本校平均と横浜市平均を記載しています。正答率だけでは読み取れない設問ごとの状況や生活状況調査の結果との比較などを分析したものと今後の手立てをまとめてあります。

2年生

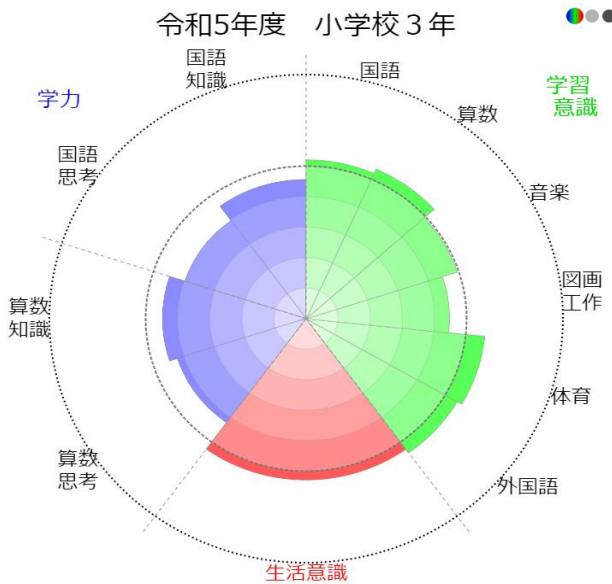


傾向と今後の手立て

全体的に学習や生活習慣への意識が低い傾向があり、全体的に横浜市の平均を下回っている。学力においては、算数は知識、思考共に横浜市の平均に到達しているが、国語においては、どちらも下回っている。

今後の手立てとして、国語の学習意識を高めるために、自信をもって発表できるような声掛けをしたり、文を読む時間を多くとるようにしていく。また、漢字のクイズや話し合いを多く取り入れ、友達と楽しく学習する中で、意欲を高められるようにする。

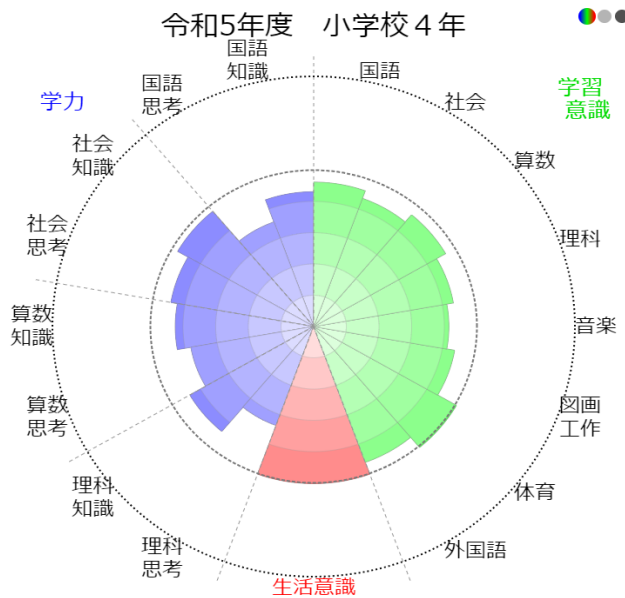
3年生



傾向と今後の手立て

横浜市の平均に比べ、今年度も学習意欲が高い。3年生から始まった理科・社会の学習でも、様々な事象に興味をもって学習に取り組んでいた。また、昨年度と比べると、国語の思考する力や言語に対する知識が身に付いてきている。「はじめ・中・終わり」を意識した文章の構成や、既習漢字を使って文書を書くなど、基礎的な学力が定着していくよう支援していきたい。算数についても、四則計算や単位の換算など、繰り返し練習をしながら知識の定着を図りたい。

4年生

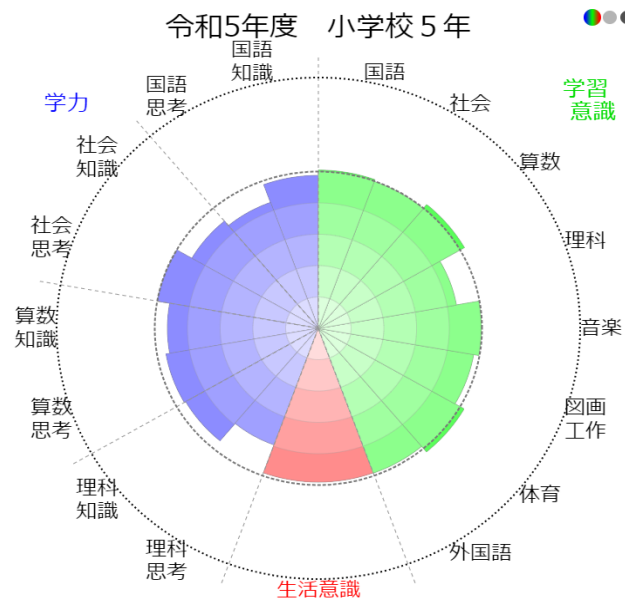


傾向と今後の手立て

横浜市の平均と比べると、学習意識、学力ともに下回っている。今後も引き続き、「分かる」「楽しい」を感じ、友達と学び合う楽しさを感じることができるような授業づくりをしていく。

学力において、どの教科も知識、思考とも下回っている。各教科スキルやプリントを使って繰り返し復習することで基礎、基本を定着させていく。また、一人一人が考える時間、表現する時間、考えを伝え合う時間を確保し、思考を深められるようにしていきたい。

5年生

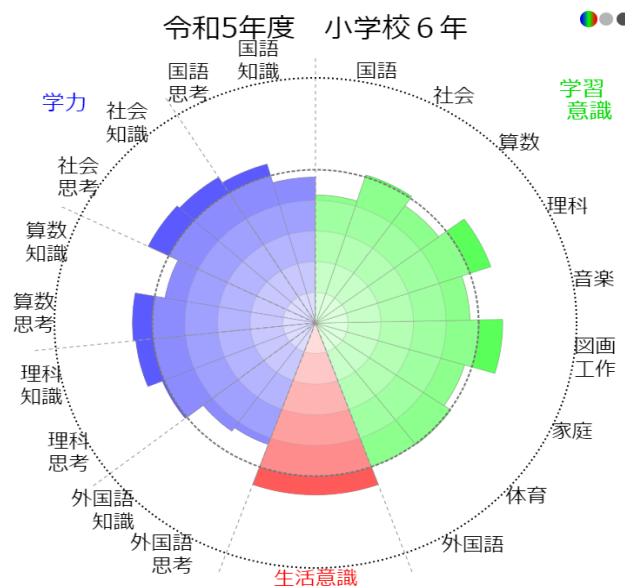


傾向と今後の手立て

昨年度に比べ、すべての教科において学習意識が高まってきている。今後も引き続き、「分かる授業」「興味を引き出す」を意識した授業をして意欲を高めていく。

学力は全体的に横浜市の平均を下回っている。特に国語と理科では思考が大きく下回っている。細かく見ると、まずは自分自身の意見考えをもつこと、そして、その考えを言葉や図などを使って表現することに課題が見られる。一人一人が考えをもち、表現する場をより多く作っていくようにする。

6年生



傾向と今後の手立て

横浜市の平均と比べると、社会、理科の知識は高くなっている。また、思考については、国語、社会、算数、理科の4教科全てで、横浜市の平均を上回っている。国語と算数の知識は平均を下回っているため、残り3か月で6年間の学習をふりかえり、繰り返し復習に取り組み、基礎的な学力の定着をめざしたい。外国語については、知識、思考ともに平均を下回っているため、基礎的なアルファベットの書き方などを朝学習や家庭学習も活用しながら行い、中学校の英語の学習につなげていけるようにしたい。